

IBMは、野洲事業所の工業団地化 路線をやめよ！

IBMは、地元経済に責任をもて！

リストラに反対し、雇用と仕事を守
ろう！

- ・拙速なSLC新会社発足を延期せよ
- ・YSCは、3年、5年先の経営計画を具体的に示せ
- ・出向から帰任した社員に、職場を提示せよ
- ・YSC、日立GSTへの「移籍」を出向に戻せ

意見は、組合ホーム・ページ <http://www.bekkoame.ne.jp/i/imiui-ibm> までお寄せください

かいな
号 外
(2003年8月27日)
JMIU日本IBM支部
野洲分会
責任者 北川定

日本IBMのリストラは、ここ数年来、野洲事業所で典型的に現れてきたように、社員に大きな負担を強いる形で行なわれてきました。

事業所正門前の看板を見てください。

子会社化、合併会社化、営業譲渡（売却）などの結果、14社もの会社（実際は20社位）の名前が記載されており、まさに「工業団地」といった様相を呈しています。

2001年6月の半導体部門270人の野洲セミコンダクターへの強制移籍にはじまり、同年10月の液晶部門への強制出向、そして、回路設計部門のSCIへの強制出向、昨年末から今年にかけての、藤沢・野洲のHDD部門の日立への売却・社員の強制移籍、2003年6月には野洲野球部の廃部です。まもなく関西グランドも現金化の処分をされるとの噂が流れています。

今回、問題になっているSLC部門が京セラに営業譲渡（売却）されると、IBM本体の職場で働くIBM社員は、野洲事業所の敷地内で働く、二千数百名の労働者のうち、わずか200名足らずになると言われています。

30数年前、地元の誘致企業として、ここ野洲で事業を開始したIBMは、地元の経済や雇用に対し責任を持たなければなりません。部門ごとに

切り売りするようなやり方はやめるべきではないでしょうか？

組合は、7/29、8/18に野洲事業所の問題について、IBM本社人事と交渉しました

1. SLCの京セラ売却問題

IBMは6月30日、SLC事業に関する京セラとの営業譲渡契約締結の発表をしました。そして、9月1日には、新会社を設立しようとしています。

組合は、雇用関係については、本人の意思を尊重したうえで、

- 1 転籍
- 2 出向
- 3 IBM本体の他の職場に異動
- 4 その他

などの選択肢を会社は用意すべき、と要求しました。

また、組合は、新会社発足については、社員が検討する十分な時間をとれ、と要求しています。なにも一ヶ月、二ヶ月を急ぐ必要はありません。社員が納得して今後の人生設計を検討できる時間的余裕を、会社は保障すべきです。

「転籍拒否し、IBM本体に残っても仕事はない」などと、事実上、転籍を強要するようなやり方は許されません。

転籍を選択しない社員には、本人の希望を尊重した新しい職場、仕事を提供するのは会社の責任です。それは、永年、会社のために貢献してきた社員に対する会社の当然の義務です。

・7月29日の団交でのやりとり

Q：新会社とIBMとの供給契約の期間は何か。

A：機密事項であり、お知らせする考えはない

Q：新会社が野洲事業所から撤退することがあり得るのではないかと。

A：「新工場の場所は近畿を予定している」「新工場の操業後も野洲は量産工場のひとつとして操業するとともに、開発および新製品の立ち上げ生産拠点としての役割を担っていくことになる」と聞いている。

----> 新会社がどうなるか、また、転勤の有無は社員にとっても大きな関心事になる旨、組合は伝えました。

Q：新会社への異動はなぜ「転籍」なのか。

A：京セラの方針を受けたものだ。

----> IBMとして、それについて何もコメントしなかったのか、という問いには、特に注文をつけたことはないとの回答でした。

Q：京セラから提示された「給与」等の雇用条件、IBMから提示された「加算金」の算定方式を示せ。

A：京セラの決定について、IBMが回答する立場にない。「加算金」は、転籍後の給与と現給与の差額などを考慮して個別に決定した。

----> 結局、どのように決定されたのか社員にとっては不明ということです

・8月18日の交渉内容

会社：・転籍同意は順調に推移している。

・転籍/出向などは相手側(京セラ)の主導権により決定される。

・転籍しない人には、スキル/人材ニーズを勘案して新職場を捜す。

・転籍したのが何人で、どういう人かによって9/01以後の会社の対応を検討する。

・転籍で収入半減のケースもあるが、そんなに多くは無いでしょう。

・転籍後の処遇は京セラの賃金レベルを見て決めた。

2. SCI出向・帰任問題

・7月29日の団交でのやりとり

会社：現状ではまだ、どうこういえる段階ではない。何とかしなければならないとは認識している。

組合：SCIという会社の先行きにみんな不安を抱いている。

組合員はIBM本体に帰任を希望している。とりあえず出向の延長ということであれば、検討はする。

・8月18日の団交でのやりとり

会社：まだ方針が決まらない。

組合：9月初には出して欲しい。

IDT方式(帰任先を決めないでの帰任)はダメですよ。

3. IDT帰任後について

・8月18日の団交でのやりとり

会社：今月末(8月末)から来月にかけて何とかしたいとは思っているが。

組合：何らかの候補職場を提示しないとまずいのではないですか。PBCの目標設定のしようがない。そんなことでD評価にされてはたまらない。

組合掲示板について

健康管理室前(1号ビル2階社員ルーム前)に組合掲示板が設置され、組合記事を掲示していません。